



6年『全国学力・学習状況調査』（平成24年4月17日実施）の結果に基づく指導方法等の改善計画についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査 正答率

〔A：主として知識〕 〔B：主として活用〕

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
草津小学校 (%)	83.7	61.0	74.7	65.2	67.9
広島県 (%)	83.6	58.1	75.4	60.5	62.9
全 国 (%)	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9

国 語	主な課題	要 因
	① 慣用句の意味の理解。 ② 手紙の構成を理解し、後付を書くこと。 ③ 資料を読みとり、相手に質問したい内容を考えて記述すること。	○ 慣用句を表す漢字がわからない為、意味が理解できない。 ○ 正式な手紙の構成を理解していない。 ○ 資料の主旨を捉えることは概ねできるが、読みとったことを応用して表現する力が不足している。
	＜課題解決に向けた国語科における具体的実践＞	
	① 日常生活の中でも慣用句を注目して取り上げ、辞書を使って調べる等、親しめるように指導する。 ② 手紙の構成を理解し、目的意識・相手意識が持てるように指導する。 ③ 他教科の学習でも、自分の意見を持ち、記述する活動を毎時間取り入れ、書くことに慣れるように指導する。	

算 数	主な課題	要 因
	① 文章と図を関連づけて考え、2つの数量関係を理解すること。 ② 立体図形の辺と面積の関係の理解。 ③ 割合の大小を判断し、その理由の記述。	○ 文章中での比べる量、比べられる量の読み取りができていない。 ○ 立体図形の辺や面の関係が理解できていない。 ○ 割合の理解は概ねできているが、選んだ理由を式や言葉で説明する力が不足している。
	＜課題解決に向けた算数科における具体的実践＞	
	① 文章問題では、図や絵、数直線などを用いて2つの量を表すことで量感を育てるように指導する。 ② 実際に立体図形を用いて、辺や面の関係（平行・垂直）を捉えることができるように指導する。 ③ もとにする量、比べられる量を適切に読みとり、割合の計算の仕方を理解し、記述することができるように指導する。	

理 科	主な課題	要 因
	① 水の状態変化の理解。 ② 方位磁針の使い方。 ③ 天気の様子と気温の変化の関係を読み取りと、その理由の記述。	○ 温度による水の状態変化が理解できていない。 ○ 方位磁針の基本的な使い方が理解できていない。 ○ 気温の変化の様子は理解しているが、理由の記述ができていない。
	＜課題解決に向けた理科における具体的実践＞	
	① 実験では、結果を予測し、確かめる方法を考え、結果からわかったことを自分の言葉で記述する学習を通して主体的に学び、理解することができるように指導する。 ② 理科の学習のみならず、教室でも方位を実感させて、方位磁針に親しめるように指導する。 ③ グラフの読み取りの指導では、比較する視点を明確にし、ノートに記述することを繰り返し行うことで、書く活動に慣れるよう指導する。	

学力向上へ向けた全校的な取組（課題解決に向けた具体的実践）

- ① 帯学習の時間には、ドリル学習を繰り返し行うことで基礎学力の定着を図る。（国語科…漢字、ローマ字、文法、慣用句、熟語など 算数科…四則計算、面積、体積、単位換算など）
- ② いずれの教科でも、記述式の問題に課題が見られた。そこで、毎時間、個人が思考する時間を確保し、ノートに記述する活動を繰り返し行い、書くことに慣れるようにする。